



2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月10日
東

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所
コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
定時株主総会開催予定日 2025年11月21日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年11月21日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	1,873	△6.9	△323	—	△317	—	△508	—
2024年8月期	2,012	△2.9	△141	—	△148	—	△270	—

(注) 包括利益 2025年8月期 △508百万円(—%) 2024年8月期 △270百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	△50.21	—	△58.1	△12.9	△17.3
2024年8月期	△26.89	—	△22.7	△5.5	△7.0

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 ー百万円 2024年8月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	2,277	708	30.9	67.52
2024年8月期	2,651	1,045	39.4	103.69

(参考) 自己資本 2025年8月期 704百万円 2024年8月期 1,045百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	△220	△220	76	1,595
2024年8月期	44	△238	127	1,960

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日～2026年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通 期	2,163	15.5	△294	—	△300	—	△302	—	△29.90

※2026年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年8月期	11,300,000株	2024年8月期	11,300,000株
2025年8月期	871,144株	2024年8月期	1,221,144株
2025年8月期	10,121,321株	2024年8月期	10,078,888株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績（2024年9月1日～2025年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	1,817	△7.0	△358	—	△329	—	△519	—
2024年8月期	1,955	△3.2	△154	—	△157	—	△277	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年8月期	△51.34		—					
2024年8月期	△27.54		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円		百万円		%	円 銭
2025年8月期	2,192		637		28.9	60.76
2024年8月期	2,579		985		38.2	97.82

(参考) 自己資本 2025年8月期 633百万円 2024年8月期 985百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- 2 当社は、2025年10月24日（金）に証券アナリスト、機関投資家向けに説明会を開催する予定です。この説明会資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃金上昇と物価高が並存する中で個人消費が底堅く推移し、日銀の金融政策修正や円安基調が金融市場に影響を与える一方、輸出企業には追い風となりました。また、世界経済においては、米国の高金利や欧州の低成長、中国不動産市場の調整に直面しつつも、新興国需要や堅調な米国消費に下支えされ、不確実性を伴いながらも成長を維持しました。

このような情勢の中、当社グループは、「占い事業」において長年蓄積してきたナレッジを活用し、コンテンツサービスからデータマーケティングサービスへと業容拡大すべく、組織体制の構築、AIを活用したシステムの開発並びに新規サービス「美肌ナビ」の開発に注力してまいりました。

BtoB向けデータマーケティングサービスの立上げ先行投資が生じる中、収益軸である既存サービスにおいては、「きやらデン」が黒字化した他、電話・チャット占いサービス及び自社メディアが緩やかながらも収益を伸ばしましたが、占い新規コンテンツの不調が影響し、前年同期で減収減益となりました。また、株主数の大幅な増加に伴う管理コスト、採用費及び人件費、並びに外注費等の増加の他、本店移転に伴う費用14百万円が生じたことから営業損失を計上しております。

これらの状況を鑑み、当社は、2026年8月期以降の収益の改善に向け、各事業についてその内容及び進捗等を精査いたしました。その結果、新規事業「美肌ナビ」については、リリース時期の後ろ倒しに伴い収益時期において当初計画とずれが生じていること、並びに現状の当社財務状況およびリソース配分を踏まえ、より高いリターンを目指すべく、一時的に推進速度を緩やかにする判断をし、ソフトウェア114百万円の減損損失を行い、特別損失を計上いたしました。

なお、当社では、第3四半期連結会計期間において、第三者割当による第3回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に係る諸費用7百万円の費用が生じた他、当連結会計年度の予測数値及び業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産74百万円を取り崩し、同額の法人税等調整額を計上しております。

以上の結果、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高1,873百万円(前年同期比6.9%減)、営業損失323百万円(前年同期は営業損失141百万円)、経常損失317百万円(前年同期は経常損失148百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失508百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失270百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。

① 占い事業 (旧：デジタルコンテンツ事業 / One to One 事業 占いサービス)

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いの師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。電話・チャット占いサービスにおいては、売上は微減したものの、新規システムの導入による業務効率化が奏功し、営業利益は前期比で増加しました。一方、1対N向けのコンテンツサービスにおいては、自社メディアの課金収入が安定的に収益を伸ばしましたが、占い新規コンテンツがヒットに恵まれない中、体制の構築に向けた採用費及び人件費の増加が生じ、売上・利益ともに前年同期比で減少しております。

以上の結果、当連結会計年度における占い事業の売上高は1,761百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益385百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

② エンタメ・マッチングサービス事業 (旧：SNS事業 / XR事業 / One to One 事業 非占いサービス)

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面で人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスとして、「きやらデン」及びシミュレーションゴルフ「LoungeRange」赤坂見附店の運営を行っております。「きやらデン」については、売上は前年同期比で横ばいとなったものの、新システム導入による業務効率の改善により営業利益が黒字化したいたしました。一方、シミュレーションゴルフ店舗については売上が僅少となり、営業損失を計上しております。なお、前年同期比で赤字幅が大きく縮小しておりますが、これは、前連結会計年度において不採算サービス2つから撤退したことによるものです。

以上の結果、当連結会計年度におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は109百万円(前年同期比0.5%減)、営業損失7百万円(前年同期は営業損失100百万円)となりました。

③ その他事業 (ヘルスケア/EC 他)

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当連結会計年度は、韓国コスメEC「Corée11eJAPAN」の運営の他、新規美容関連サービス「美肌

ナビ」(2025年7月正式リリース)の開発、BtoB向けデータマーケティングサービスの推進に注力してまいりました。当連結会計年度時点においては、システム及びサービス開発にかかる先行投資により損失を計上しております。

以上の結果、当連結会計年度におけるその他の売上高は3百万円(前年同期比27.0%増)、営業損失157百万円(前年同期は営業損失96百万円)となりました。

なお、当社は、2026年8月期以降の収益の改善に向け、各事業についてその内容及び進捗等を精査いたしました。その結果、新規事業「美肌ナビ」については、リリース時期の後ろ倒しに伴い収益時期において当初計画とずれが生じていること、並びに現状の当社財務状況およびリソース配分を踏まえ、より高いリターンを目指すべく、一時的に推進速度を緩やかにする判断をし、ソフトウェア114百万円の減損損失を行い、特別損失を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループの事業活動における主な運転資金需要は、各事業の事業規模拡大や新規事業推進に伴う運転資本及びシステム開発費の増加等であります。

当社グループは、主に内部資金の活用及び金融機関からの借入により資金調達を行っており、これらの事業活動に必要な資金の安定的な確保に努めております。資金調達においては、市場環境を勘案し、慎重な判断のもと借入を行っております。また、当連結会計年度におきましては、第三者割当による第3回新株予約権及び第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行を行っております。一方で内部資金についてはこれまでの利益剰余金の積み重ねによる現預金を活用しており、各種事業への機動的な投資の実行を可能にするとともに、自己資本比率をはじめとする各指標のもと、資金効率の向上に努めてまいります。

② 財政状態の分析

当連結会計年度の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

(資産の状況)

当連結会計年度の資産合計は、前連結会計年度末と比較して373百万円減少し、2,277百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少364百万円、売掛金の減少30百万円、繰延税金資産の取崩しによる減少74百万円によるものです。

資産の内訳は、流動資産1,860百万円、有形固定資産36百万円、無形固定資産201百万円及び投資その他の資産180百万円となっております。

(負債の状況)

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度末と比較して36百万円減少し、1,569百万円となりました。

これは主に、短期借入金の増加97百万円、転換社債型新株予約権付社債の増加300百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少157百万円及び長期借入金の減少325百万円によるものです。

負債の内訳は、流動負債977百万円、固定負債592百万円となっております。

(純資産の状況)

当連結会計年度の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して337百万円減少し、708百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少508百万円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して364百万円減少し、1,595百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により減少した資金は、220百万円(前連結会計年度は44百万円の増加)となりました。

主な増減要因は税金等調整前当期純損失432百万円、減価償却費37百万円、売上債権の減少30百万円、株主優待引当金の増加33百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により減少した資金は、220百万円(前連結会計年度は238百万円の減少)となりました。
これは主に、無形固定資産の取得による支出198百万円であります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により増加した資金は、76百万円(前連結会計年度は127百万円の増加)となりました。

主な増減要因は、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入291百万円、長期借入金の借入による収入200百万円、新株予約権の行使による収入166百万円、長期借入金の返済による支出683百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後については、雇用・所得環境の改善等景気回復への期待が高まる一方、原材料価格の高止り、人手不足の深刻化とこれに伴う人件費の高騰、世界経済においても地政学リスクの高まりや中国等の景気後退が懸念となり、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。当社グループの属するデジタルコンテンツ業界においても、プラットフォーム以外は、配信プラットフォームの方針に収益が左右される側面が強く、新規顧客の獲得においてもWeb広告が標準的な広告手法へととなりつつあります。このような中、当社グループでは、2024年8月期における事業精査と選択の結果、リソースの集中を決定した既存事業の収益拡大と既存事業とシナジーの高い新規参入事業の収益化を進めるにあたり、SNS・インフルエンサーマーケティングやChatGPTをはじめとする生成AI等の活用により、生産性・ユーザー体験の向上を図ってまいり所存です。

以上を踏まえ、当社グループが予想する2026年8月期の連結業績数字は次のとおりです。

売上高2,163百万円 営業損失294百万円 経常損失300百万円 親会社株主に帰属する当期純損失302百万円

これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

なお、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

また、現在、中期経営計画（2026年8月期～2028年8月期）について策定中であります。策定次第速やかにお知らせいたします。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,960,337	1,595,941
売掛金	227,283	196,873
仕掛品	2,750	7,936
貯蔵品	293	137
その他	41,075	59,999
貸倒引当金	△635	△556
流動資産合計	2,231,105	1,860,331
固定資産		
有形固定資産		
建物	70,788	70,788
減価償却累計額及び減損損失累計額	△67,144	△67,617
建物（純額）	3,643	3,171
工具、器具及び備品	89,411	102,840
減価償却累計額及び減損損失累計額	△86,252	△88,602
工具、器具及び備品（純額）	3,158	14,237
建設仮勘定	-	18,600
有形固定資産合計	6,802	36,008
無形固定資産		
ソフトウェア	69,153	102,116
ソフトウェア仮勘定	78,038	98,254
その他	960	914
無形固定資産合計	148,152	201,285
投資その他の資産		
投資有価証券	86	0
長期貸付金	90,000	80,000
繰延税金資産	74,361	-
会員権	5,539	5,490
敷金及び保証金	94,559	94,162
その他	3,973	582
貸倒引当金	△3,349	△235
投資その他の資産合計	265,169	180,001
固定資産合計	420,125	417,294
資産合計	2,651,230	2,277,626

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	52,025	47,241
短期借入金	-	97,200
1年内返済予定の長期借入金	669,228	511,884
未払費用	43,124	38,731
未払法人税等	6,019	4,425
未払消費税等	5,787	1,757
株主優待引当金	74,114	107,411
その他	137,973	168,954
流動負債合計	988,272	977,604
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	300,000
長期借入金	617,869	292,021
固定負債合計	617,869	592,021
負債合計	1,606,141	1,569,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	442,460
利益剰余金	685,269	177,030
自己株式	△514,219	△366,835
株主資本合計	1,045,088	704,115
新株予約権	-	3,886
純資産合計	1,045,088	708,001
負債純資産合計	2,651,230	2,277,626

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	2,012,763	1,873,495
売上原価	1,012,690	964,462
売上総利益	1,000,072	909,033
販売費及び一般管理費	1,141,227	1,232,480
営業損失(△)	△141,154	△323,447
営業外収益		
受取利息	4,769	6,673
為替差益	6	54
受取保険金	-	3,880
補助金収入	-	16,200
その他	1,151	185
営業外収益合計	5,928	26,993
営業外費用		
支払利息	11,774	11,923
社債発行費	-	8,887
その他	1,111	212
営業外費用合計	12,886	21,022
経常損失(△)	△148,112	△317,476
特別損失		
減損損失	89,596	114,732
事業撤退損失	17,081	-
特別損失合計	106,677	114,732
税金等調整前当期純損失(△)	△254,790	△432,209
法人税、住民税及び事業税	4,276	1,667
法人税等調整額	11,918	74,361
法人税等合計	16,194	76,029
当期純損失(△)	△270,985	△508,238
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△270,985	△508,238

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純損失 (△)	△270,985	△508,238
その他の包括利益		
包括利益	△270,985	△508,238
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△270,985	△508,238

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	451,459	422,578	986,491	△514,204	1,346,325	△935	△935	-	1,345,389
当期変動額									
剰余金の配当			△30,236		△30,236				△30,236
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△270,985		△270,985				△270,985
自己株式の取得				△14	△14				△14
自己株式の処分					-				-
新株予約権の発行					-				-
新株予約権の行使					-				-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						935	935	-	935
当期変動額合計	-	-	△301,222	△14	△301,236	935	935	-	△300,300
当期末残高	451,459	422,578	685,269	△514,219	1,045,088	-	-	-	1,045,088

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	451,459	422,578	685,269	△514,219	1,045,088	-	-	-	1,045,088
当期変動額									
剰余金の配当					-				-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△508,238		△508,238				△508,238
自己株式の取得					-				-
自己株式の処分		19,881		147,383	167,265				167,265
新株予約権の発行					-			4,901	4,901
新株予約権の行使					-			△1,015	△1,015
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						-	-	-	-
当期変動額合計	-	19,881	△508,238	147,383	△340,973	-	-	3,886	△337,087
当期末残高	451,459	442,460	177,030	△366,835	704,115	-	-	3,886	708,001

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△254,790	△432,209
減価償却費	40,643	37,107
減損損失	89,596	114,732
受取保険金	-	△3,880
補助金収入	-	△16,200
受取利息	△4,769	△6,673
支払利息	11,774	11,923
社債発行費	-	8,887
売上債権の増減額 (△は増加)	45,934	30,410
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,403	△5,028
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,755	△4,783
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	74,114	33,296
未払金の増減額 (△は減少)	12,801	△11,435
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,039	△4,007
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,285	△10,588
その他	18,190	27,204
小計	51,390	△231,245
利息及び配当金の受取額	186	6,591
利息の支払額	△10,997	△11,823
保険金の受取額	-	3,880
補助金の受取額	-	16,200
法人税等の支払額	△1,095	△4,089
法人税等の還付額	4,689	58
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,172	△220,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,250	△32,155
無形固定資産の取得による支出	△134,164	△198,083
敷金及び保証金の差入による支出	△2,351	-
貸付けによる支出	△100,000	-
貸付金の回収による収入	-	10,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,766	△220,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	97,200
長期借入れによる収入	899,791	200,000
長期借入金の返済による支出	△740,809	△683,192
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	-	291,112
新株予約権の発行による収入	-	4,901
新株予約権の行使による収入	-	166,250
自己株式の取得による支出	△14	-
配当金の支払額	△31,459	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	127,507	76,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△67,086	△364,395
現金及び現金同等物の期首残高	2,027,423	1,960,337
現金及び現金同等物の期末残高	1,960,337	1,595,941

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各セグメントに属する製品及びサービスの種類

「占い事業」は、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する、1対N向けのサービス及びユーザーと占い師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを、「エンタメ・マッチングサービス事業」は、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高または振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッチ ングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	1,900,668	109,525	2,010,194	2,568	2,012,763	—	2,012,763
外部顧客への売上高	1,900,668	109,525	2,010,194	2,568	2,012,763	—	2,012,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,900,668	109,525	2,010,194	2,568	2,012,763	—	2,012,763
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	487,485	△100,359	387,126	△96,702	290,423	△431,578	△141,154
セグメント資産	366,775	77,581	444,356	11,447	455,804	2,195,425	2,651,230
その他の項目							
減価償却費	14,975	13,290	28,266	10,000	38,266	2,376	40,643
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	54,242	74,056	128,299	49,109	177,408	—	177,408

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△431,578千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用の△431,578千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額2,195,425千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に本社及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額2,376千円は、主に本社及び管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッチングサービス事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,761,219	109,014	1,870,234	3,261	1,873,495	—	1,873,495
外部顧客への売上高	1,761,219	109,014	1,870,234	3,261	1,873,495	—	1,873,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,761,219	109,014	1,870,234	3,261	1,873,495	—	1,873,495
セグメント利益又はセグメント損失(△)	385,581	△7,408	378,173	△157,212	220,960	△544,407	△323,447
セグメント資産	414,372	51,958	466,331	10,326	476,658	1,800,968	2,277,626
その他の項目							
減価償却費	18,475	12,508	30,983	3,469	34,452	2,654	37,107
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	75,733	8,178	83,912	118,252	202,164	32,014	234,178

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△544,407千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用の△544,407千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額1,800,968千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に本社及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額2,654千円は、主に本社及び管理部門の資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

「占い事業」「エンタメ・マッチングサービス事業」及び「その他事業」において、事業撤退によるため及び当初想定していた収益獲得や費用削減の効果が見込めなくなったため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、89,596千円であります。報告セグメントごとでは、「占い事業」においては、13,025千円、「エンタメ・マッチングサービス事業」においては、60,981千円、「その他事業」においては、15,590千円の減損損失を計上しております。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

「その他事業」において、回収に当初想定していた以上の期間がかかる見込みとなったため、一部の資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、114,732千円であります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)	
1株当たり純資産額	103円69銭	1株当たり純資産額	67円52銭
1株当たり当期純損失	△26円89銭	1株当たり当期純損失	△50円21銭

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△270,985	△508,238
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△270,985	△508,238
期中平均株式数(株)	10,078,888	10,121,321

(重要な後発事象)

該当事項はありません。